

地元を愛する繁殖農家、千葉さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 6:30 ~ 7:00 自宅から牧場へ。着替えて仕事開始。
- 7:00 ~ 8:30 繁殖牛舎、発情の確認、給餌、畜舎清掃。
- 8:30 ~ 11:00 育成牛舎で子牛への哺乳。育成牛、妊娠牛への給餌。
- 11:00 ~ 12:00 哺育室の清掃。
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 15:00 関係機関との打ち合わせ。
- 15:00 ~ 18:00 繁殖牛舎で発情牛に人工授精、給餌、畜舎清掃。
- 18:00 ~ 20:00 育成牛舎で子牛への哺乳。育成牛、妊娠牛への給餌。
- 20:00 帰宅。



分娩監視装置。体温の差をセンサーが感知して、千葉さんのスマートフォンにメールが届く

Profile

和牛繁殖牧場「美付ファーム」代表

ちば すすむ
千葉 晋さん

青森県むつ市生まれの43歳。青森県立田名部高等学校、北里大学獣医学産学科を卒業後、製菓会社に就職。MR(医薬情報伝達者)の仕事に就く。福島県で東日本大震災に遭遇し、父が営む繁殖農家の跡を継ぐ決意をする。現在は自ら経営を行う。平成29年青森県の肉用牛共進会では東北農政局長賞を受賞。趣味は、おいしい米と最高級の和牛、そして旨い日本酒をいただくという、日本人として最高の贅沢を味わうこと。むつ市に奥さんと子どもの3人暮らし。

企業名 美付ファーム

- 所在地/青森県むつ市
- 事業内容/和牛(黒毛和種)の繁殖
- 従業員数/2人
- 年間子牛出荷頭数/35頭(母牛54頭を飼養)



生後1か月の牛に哺乳



東北農政局長賞を受賞した牛「だぶる2の1」と千葉さん

畜産業で働く!

Work Style VOL.02

牛肉をつくる



夢は下北の素材を生かしたおいしいブランド牛の育成!

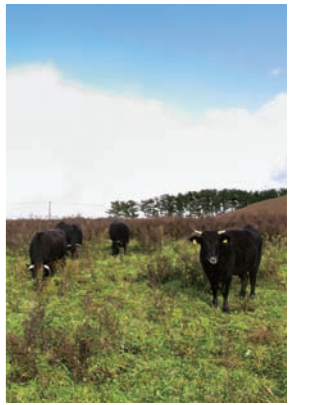
楽しく働き、
楽しく儲ける

下北半島のとっぺん、繁殖農家の仕事に誇りを持って取り組んでいる人がいる。美付ファームの千葉晋さんだ。

「楽しく働き、楽しく儲けるがモットー」と畜産へのこだわりを笑顔で明かす。「楽をするというのはサボることとは違う。どの時期に何をしたいか、楽になりたいか。そのために日々、当たり前のように手を抜かず、ちゃんと働けば、ありがたいことに牛はお金という形で返してくれる。結果的には儲けに繋がります」

すべての牛たちが健康で元気なら、管理する側は毎日気持ちよく楽しく仕事ができる。「咳をしている牛がいたら自分の気持ちも減入るけど、牛たちが元気に走り回っているなら、こっちの気分もいいからね」と本音を語る。

元気に育った牛たちは体重も増え、治療にかかる時間や労力、経費まで削減できる。だからこそ、牛を



病気にさせない、長引かせないことが重要。千葉さんは、その努力を惜しまない。

東日本大震災で被災し故郷での就農を決意

繁殖農家の仕事は、母牛を育てて妊娠させ、生まれた子牛を肥育の素牛として約10か月間育てて、肥育農家に渡すこと。

最も大事なものは牛の観察だ。牛に餌をあげたり、牛床をきれいにしてやることは欠かせない作業だが、牛を毎日よく観察して、病気のサインや発情兆候、分娩の見極めこそが本当に大事な仕事。発情の場合、牛は鳴いたり、運動量が増えてソワソワする。その小さな変化を見逃してはいけない。発情から24時間で人工授精しないと、絶対に子どもは生まれません。

常にポジティブな千葉さんだが、就農のきっかけは、3・11だった。畜産系の大学を卒業したものの「あの頃の自分は『月9ドラマ』みたいにしてスーツを着て働くのがカッコいい」と思っていた。だから、ふるさとについて考えたこともなかった。でも前職の勤務地であった福島県いわき市で東日本大震災に被災した際、結婚していたこともあって、家族や地域の大切さを痛烈に感じた。これから流す汗は、自分を育ててくれた地元のために、父の跡を継ぎ、就農することを決意しました

命が誕生する瞬間に立ち会い成長する姿を見るのは最高!

畜産の仕事に就いて9年、自ら経営を始めて7年。「今でも毎回分娩はドキドキする。和牛の繁殖は命に携わる仕事。優れた子牛が生まれるように交配計画を立て、人工授精で妊娠させ、分娩に立ち会い、生まれた子牛を健康に育て上げる。命が誕生する瞬間に立ち会い、子牛がどんな成長する過程を見るのは最高の気分です」

将来の夢は、繁殖と一部の子牛を肥育して肉として出荷すること。「むつ市に繁殖農家はいても、肥育農家がないんです。せっかくだから牛を作っても地域外に出してしまおう。だから、むつ市のブランド牛を作りたい。肉まで作れば、イベントなどでも、むつ市で畜産が行われていることをアピールできる。下北の人に畜産業を認知してもらわなければ、最終的には担い手の対策に繋がっていかないと思うんです」

千葉さんの熱い想いは、地元のオピニオンリーダーとして多方面に影響を与えている。

